

## 若手農林水産研究者表彰農林水産技術会議会長賞受賞者の業績概要

受賞者	業 績 名	所 属
いわだて やすや 岩 舘 康 哉	キュウリホモプシス根腐病の総合防除対策の確立	岩手県農業研究センター
<p>露地キュウリ生産に深刻な被害をもたらすホモプシス根腐病に対する効果的な土壌消毒手法や、転炉スラグ（石灰肥料）を活用した新たな被害軽減技術を開発した。さらに、農業改良普及センターと一体となった現地実証先行型の取組により、総合防除対策の構築と成果普及を迅速に展開し、本病被害の拡大防止と軽減に貢献した。</p>		
さかいがいち たけお 境 垣 内 岳 雄	野生種を活用した極多収サトウキビ品種の育成と普及	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
<p>南西諸島での飼料増産に向けて、製糖用品種とサトウキビ野生種との交雑により、高い収量性と耐病性を合わせ持つ飼料用サトウキビ3品種を育成した。更に、年2回収穫という新発想で、多収かつ収穫作業性の高い栽培体系を構築し、育成品種の普及に繋げた。なお、飼料用サトウキビは、製糖用サトウキビの育種素材としても活用されている。</p>		
つぼた たくや 坪 田 拓 也	遺伝子組換えカイコの作出および産業利用の高度化	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門
<p>カイコの産業利用をさらに拡大するため、遺伝子組換えカイコ作出技術の高度化に取り組み、新規プロモーターの特定による組換えカイコの簡便な判別および高効率での遺伝子挿入を可能とする技術を開発した。また、カイコ絹糸腺での遺伝子発現制御機構を明らかにし、組換えカイコによる有用物質生産の効率化に貢献した。</p>		

受賞者	業績名	所属
はせがわ てるあき 長谷川 輝明	養豚排水の窒素低減に関する技術開発	千葉県畜産総合研究センター
<p>             養豚場等の排水から生じる環境汚染や人への健康被害防止のため、硫黄酸化脱窒細菌による硝酸性窒素の除去技術に着目し、土木用タンクを転用するなど簡易で低コストでありながら、硝酸性窒素の処理能力が高く、実用性の高い処理システムを開発した。本システムは、水質環境基準の規制強化に苦慮する養豚農家等への普及が大いに期待される。           </p>		
やぎ まさふみ 八木 雅史	花きにおけるゲノム育種基盤の構築とその利用	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門
<p>             カーネーションにおいて多数のDNAマーカーを配置した遺伝子地図および全ゲノム情報を整備し、DNAマーカーを利用した萎凋細菌病抵抗性品種「花恋ルージュ」を育成した。更に、これらのゲノム解析技術をアジサイなどの花きに展開しており、今後は、日持ち性、早晩性、その他病害抵抗性等の新たな特性を有する品種の開発が期待される。           </p>		